

# 令和2年度 第5回

## 病院経営戦略会議報告

**日時** 令和2年5月19日（火） 13時00分～13時30分  
**場所** 3階会議室1・2  
**出席者** 堀之内院長 窪地経営戦略特命参与 小山副院長 増田副院長  
安西看護部長 青木保健福祉局理事 細沼病院経営部長 越田病院総務  
課長 赤沼病院施設管理課長 浅野病院財務課長 若林医事課長 増田  
情報管理室長 日向患者支援センター副所長  
**事務局** 坂口病院総務課長補佐

### 内 容

#### ◎越田病院総務課長

##### 【報告事項】

(看護職員の採用選考（R2.8.1採用、R3.4.1採用）について）

- ・採用選考の応募締め切りは5月22日（金）消印有効。途中経過ではあるが、令和2年8月1日付けの中途採用者の選考には10名の募集に対して6名、令和3年4月1日付けの採用者の選考には34名の募集に対して31名の応募がある状況。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年8月1日付け採用者の採用選考は、予定通り6月6日（土）に行うが、会場を高等看護学院へ変更する。令和3年4月1日付け採用者の採用選考は、予定を変更し、7月4日（土）・5日（日）、会場を市役所議会棟で実施する方向で調整中。

(障害者の任命状況について)

- ・4月以降の職員増加に伴い、法定雇用障害者数を達成するためには、さらに2名の雇用が必要であったが、6月1日付けで2名を採用する予定となったので、今年度の法定雇用障害者数は達成できる見込みとなった。

(時間外勤務の状況（R2年4月実績）について)

- ・医師の平均は、前月の56時間から51時間、80時間超えは、前月の20名から8名に減少。
- ・歯科医師の平均は、前月の33時間から12時間に減少、80時間超えはなし。
- ・専攻医の平均は、前月の78時間から55時間、80時間超えは、前月の13名から4名に減少。

- ・ コメディカルの平均は、前月の 30 時間から 21 時間に減少。
- ・ 看護部の平均は、前月同様 10 時間。
- ・ 事務の平均は、前月の 48 時間から 45 時間に減少。

(防疫等業務手当について)

- ・ 5 月の臨時議会に議員上程議案については、継続審議となった。今後については、改めて報告する。

(寄付の採納報告について)

- ・ 現時点で既に受け入れたものを含め、50 件ほどの寄付申し入れがあった。
- ・ 寄付を受け取った際にいただいたお手紙については、1 階職員通用口の中に掲示したのでご覧いただきたい。

## ◎赤沼病院施設管理課長

### 【報告事項】

(PCR 検査委託料の補正予算要求結果について)

- ・ 6 月議会への補正予算議案の提出はせず、当面は当初予算において対応することとなった。今後は、執行状況に留意しつつ必要があれば、改めて補正予算を要求する。

(その他)

- ・ 新病院の設計時に想定していなかったため等により必要となった修繕については、予算の執行状況を見ながら順次修繕を行っていく。今後、修繕の要望が生じた場合は電子カルテに掲示してある様式を活用し、要望をしてほしい。
- ・ 旧病棟について活用してほしいとの市への要望に対し、4 月 28 日の記者会見において、市民の安全につながるのであれば、埼玉県に使ってほしいとコメントしたことを受け、今年度予定していた旧病院解体工事についてはスケジュールの見直しを視野に入れて市と協議・検討していきたい。

Q. 県との調整状況はどうなっているのか。(小山副院長)

A. 県からの回答待ちの状況である。(施設管理課長)

## ◎浅野病院財務課長

## 【報告事項】

(交付金等の申請について)

- ・財源確保として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象としてPCR検査委託料、外来設置・電話対応等の委託料、人工呼吸器等の医療機器整備費を内閣府に申請した。また、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用した県の間接補助事業へ感染症病床拡充に伴う経費を申請した。

## ◎若林医事課長

### 【報告事項】

(救命救急センターの申請について)

- ・6月1日付で、救急科専門医1名採用となったことにより、3名体制となったことから埼玉県医療整備課に今後の申請の進め方を打診した。5月21日(木)に県医療整備課職員が来院し、打ち合わせを行うこととなった。

## ◎増田情報管理室長

### 【報告事項】

(せん妄ハイリスク患者ケア加算の支援フロー見直しについて)

- ・今年度4月より新設された「せん妄ハイリスク患者ケア加算」を算定するに当たり必要となるリスクチェック及び対策を確実にを行い、当該加算を漏れなく算定することを目的として、患者支援センター及び看護部と協力のうえ、支援フローの見直しを行っている。
- ・具体的には、医療総合情報システム内にある入退院支援スクリーニングシートにチェック項目を追加し、該当者について、看護計画に対策が盛り込まれるようにすることで、算定要件を満たすとともに、記録が残されることとなっている。

## ◎日向患者支援センター副所長

### 【報告事項】

(がん患者さんのための仕事相談について)

- ・緊急事態宣言の延長により先月に引き続き、今月も中止となった。今後の開催については、状況を考慮し検討していく。

## ◎堀之内院長

- 新型コロナウイルス対策として、外部の医師等を招いて行う会議などにおいてWEB会議等が活用しやすくなるよう環境整備を進めてほしい。
  - 利用申請の方法等など活用しやすくなるよう進めていく。(情報管理室長)